

2007年12月18日出席者

外務省：アジア太平洋局北東アジア課 秋山課長補佐、上山三等陸佐兼同課長補佐
古川、御園生、矢野、李熙子、李美代子、上田（福島事務所）、

1 厚生労働省と連携を取って、海外に放置された韓国人遺骨の調査・収集を行うこと。とりわけ、今後国内外で遺骨（白骨遺体）が発見された際には、韓国人の可能性のある旨の連絡を韓国政府に対して取ること。

2 千島が淵戦没者墓苑に少なからず韓国人の遺骨が納められていることを示す表示を、韓国政府と協議の上行うこと。

外務省 厚生労働省の回答以上に答えることはできない。

3 日本人と同等の戦地慰霊巡拝を韓国人遺族に対しても行うこと。

4 下記質問にお答えいただきたいこと。

質問項目

昨年より韓国で行われている太平洋戦争戦没軍人軍属遺族の「戦地慰霊巡拝」に関して、

(1) 実施規模(人数・金額)はいくらか

外務省

2006年12月 サイパン 20名 300万円

12月 フィリピン 20名 300万円

12月 パラオ 20名 400万円

2007年 3月 パプアニューギニア 20名 1000万円

7月 マーシャル 17名 900万円

11月 沖縄 20名

※日本側からの同行はなし（現地大使館員が対応）。韓国側は数名が同行。

(2) そのうち日本側が負担している額はいくらか。

外務省

上記の4割～5割を負担している。

(3) その支出根拠は何か。

外務省

日韓協議の合意に基づいて、外務省の予算「諸謝金」で執行。

(4) 今後の予定(時期および対象人数)はどうか。

外務省

来年度の予定は政府案を国会に示す。具体的時期、人数、場所は、韓国政府で遺族等から希望を聞いて決めることになる。

(5) 今までの戦地巡礼が単なる「旅行」に終わっていると聞く。そうしないためにも、これまで日本側の生存者聞き取りなどで蓄積した情報(戦地の状況や当時の模様)を遺族に解説するなど、雇用者であった日本政府の道義的責任を全うすべきと思うがいかがか。

外務省

ご指摘のとおりと思う。亡くなった人を偲ぶのが目的なので、それが叶うように遺族の希望を尊重しながらプログラムを決めている。マーシャルに行った際には日本人遺族の方に戦闘状況や部隊の動きについて、話しをしてもらった。事前に厚労省から韓国政府にはそういう資料を渡している。今後も改善していきたい。